

2023年(令和5年)10月20日(金)

三島市川原ヶ谷でそばの花が見ごろを迎えている。江戸時代に東海道の三島宿で旅人に出されたという「三島そば」の復活を目指す地元NPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)が2004年から栽培を続け、今年で20年。そば畑では白いかれんな花が咲き誇っている。

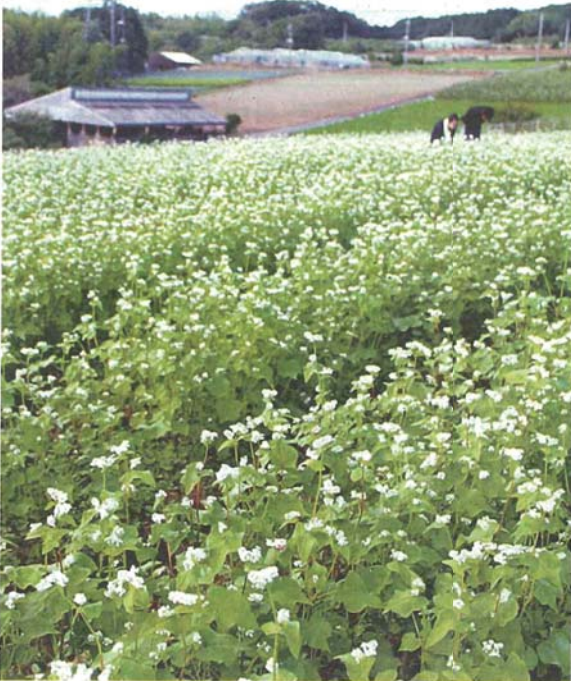
そばの花が咲いているのは箱根西麓の標高約3000級の丘陵地帯。西向き斜面のそば畑からは富士山と駿河湾が見渡せる。GW三島は今年農家から約300平方メートルの土地を借り、9月

江戸の旅人を癒やした 三島そば きれんな白い花

16日に1・5〜2キロのそばの種をまいた。生育は順調で、10月10日ごろから花が咲き始めた。花は10月下旬まで楽しめるという。その後、11月中旬に収穫する。12月中旬にはそば打ち教室を開き、年末には年越しそばとして売り出す予定。

GW三島の美和将弘さん(35)は「三島の食文化を守るため、近年は少なくなってきたそばの栽培を続けていきたい」と話した。

【石川宏】



見ごろを迎えたそばの花。三島市川原ヶ谷で